

内外水統合の多段階の浸水想定図及び 水害リスクマップ

令和 8年 3月 18日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

矢作川水系 内外水統合の浸水想定図(1/10規模降雨)

【現況河道】

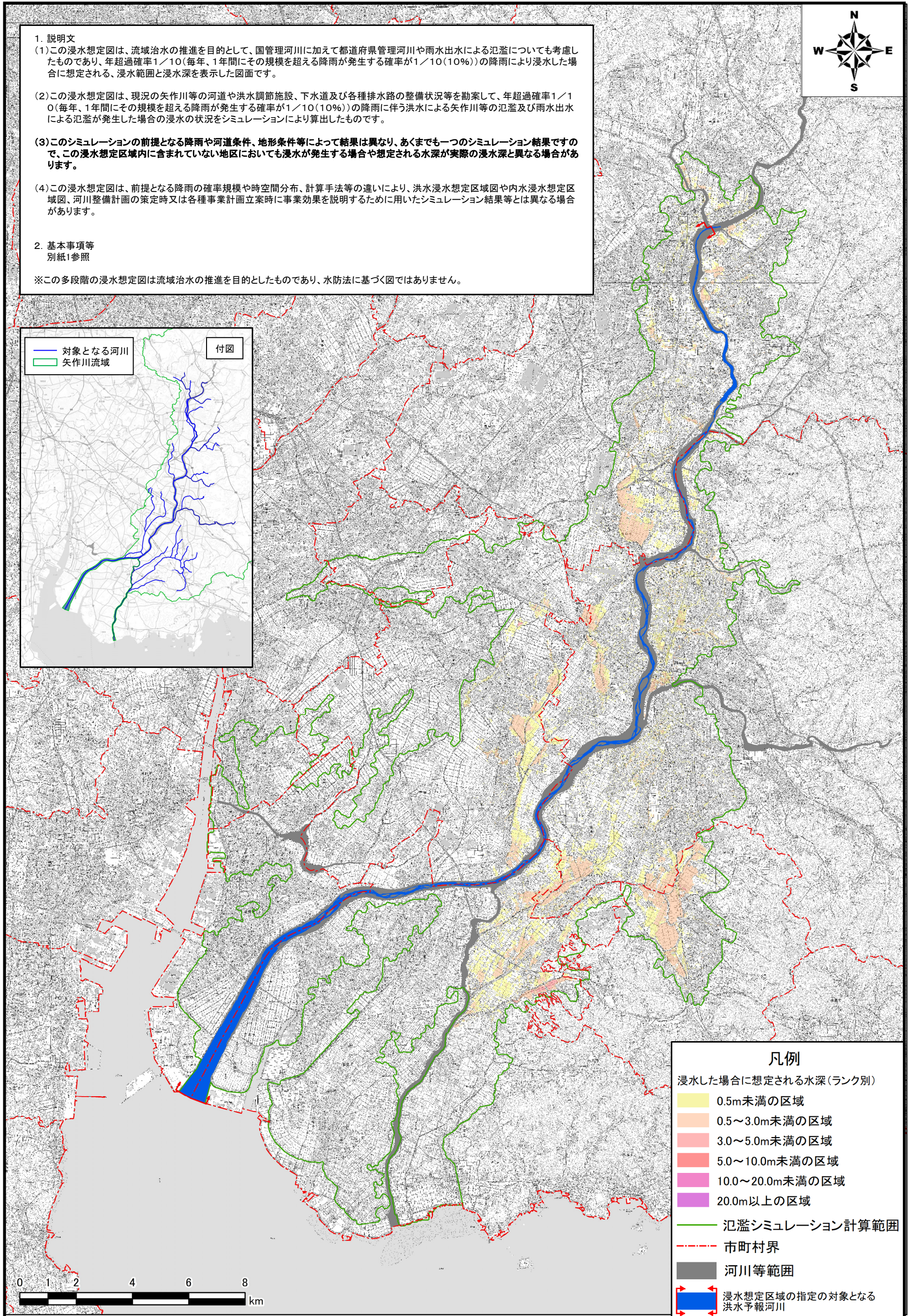
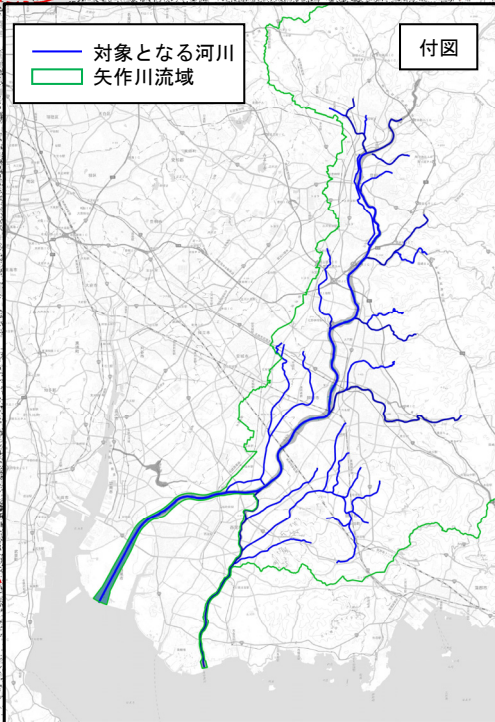


1. 説明文

- (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10(10%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2)この浸水想定図は、現況の矢作川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水による矢作川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3)このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4)この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等 別紙1参照

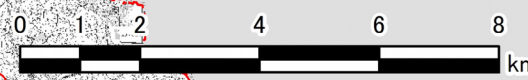
※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 氾濫シミュレーション計算範囲
- - - 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



別紙1

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで
(4)	算出の前提となる降雨	矢作川水系矢作川	年超過確率1/10(対象河川流域の2日の総雨量221mm)
		矢作川水系鹿乗川、家下川、安永川、籠川	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量205mm)
		矢作川水系矢作古川・広田川	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量202mm)
		矢作川水系乙川	年超過確率1/10(対象河川流域の2日の総雨量246mm)
		矢作川水系青木川	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量193mm)
		矢作川水系巴川	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量198mm)
		矢作川水系加茂川、市木川	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量202mm)
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量186mm)
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量192mm)
		その他河川及び下水道等【乙川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量186mm)
		その他河川及び下水道等【家下川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量192mm)
		その他河川及び下水道等【青木川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量193mm)
		その他河川及び下水道等【巴川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量198mm)
		その他河川及び下水道等【安永川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量185mm)
		その他河川及び下水道等【加茂川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量185mm)
その他河川及び下水道等【市木川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量185mm)		
その他河川及び下水道等【籠川流域】	年超過確率1/10(対象河川流域の24時間総雨量187mm)		
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。	
(6)	下水道等条件	・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定	
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町	
(8)	その他計算条件等	①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。 ⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。 ⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。 なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。	

矢作川水系 内外水統合の浸水想定図(1/30規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

- (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2)この浸水想定図は、現況の矢作川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30(3%))の降雨に伴う洪水による矢作川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3)このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4)この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等 別紙2参照

※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

- 対象となる河川
- 矢作川流域

付図

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 氾濫シミュレーション計算範囲
- - - 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

0 1 2 4 6 8 km

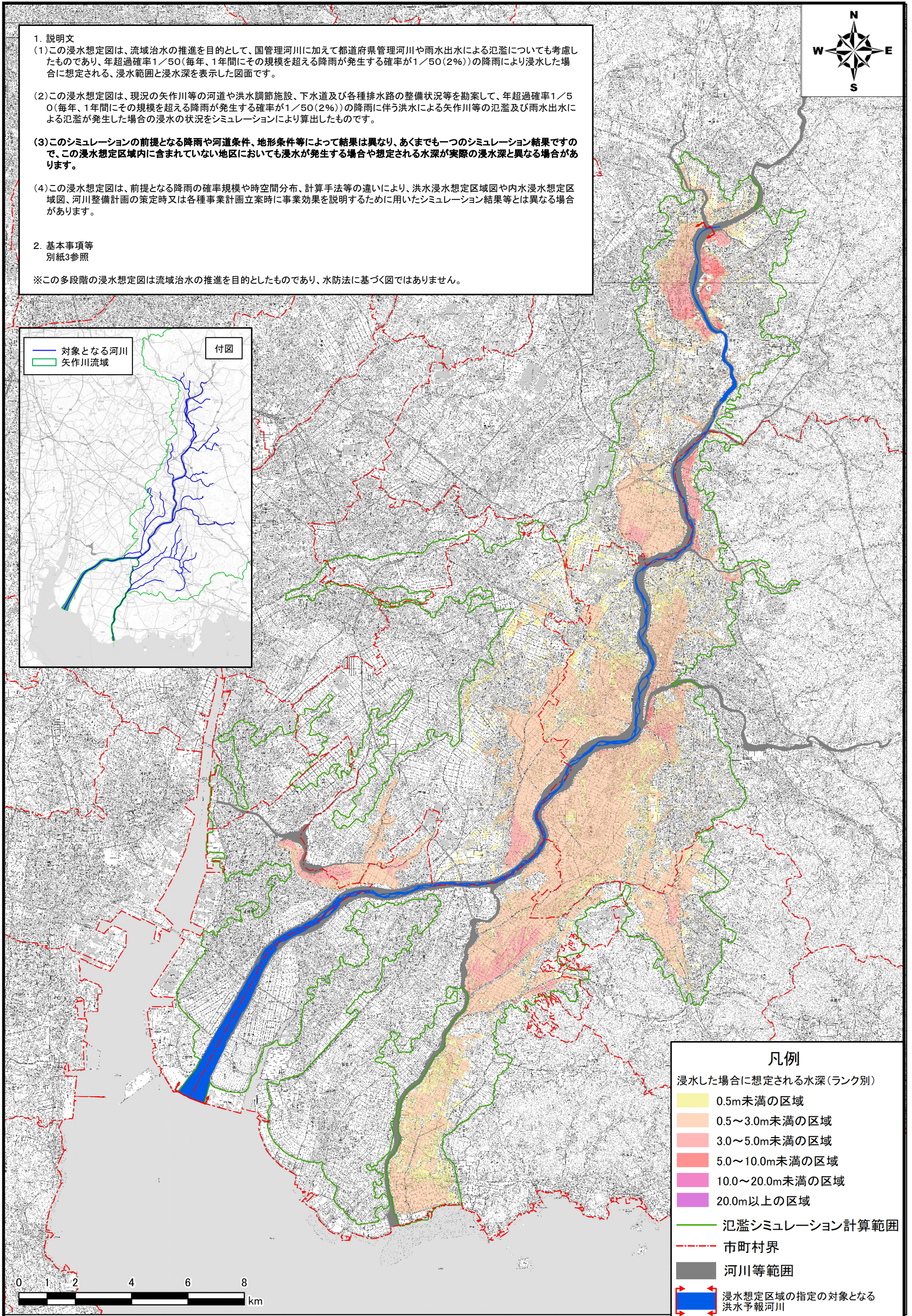
別紙2

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで
(4)	算出の前提となる降雨	矢作川水系矢作川	年超過確率1/30(対象河川流域の2日の総雨量266mm)
		矢作川水系鹿乗川、家下川、安永川、籠川	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量277mm)
		矢作川水系矢作古川・広田川	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量248mm)
		矢作川水系乙川	年超過確率1/30(対象河川流域の2日の総雨量312mm)
		矢作川水系青木川	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量236mm)
		矢作川水系巴川	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量241mm)
		矢作川水系加茂川、市木川	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量273mm)
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量234mm)
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量226mm)
		その他河川及び下水道等【乙川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量230mm)
		その他河川及び下水道等【家下川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量239mm)
		その他河川及び下水道等【青木川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量236mm)
		その他河川及び下水道等【巴川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量241mm)
		その他河川及び下水道等【安永川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量246mm)
その他河川及び下水道等【加茂川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量246mm)		
その他河川及び下水道等【市木川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量246mm)		
その他河川及び下水道等【籠川流域】	年超過確率1/30(対象河川流域の24時間総雨量241mm)		
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。	
(6)	下水道等条件	<ul style="list-style-type: none"> ・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定 	
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町	
(8)	その他計算条件等	<p>①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。</p> <p>②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。</p> <p>③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。</p> <p>④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。</p> <p>⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。</p> <p>⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。</p> <p>なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。</p>	

矢作川水系 内外水統合の浸水想定図(1/50規模降雨)

【現況河道】



別紙3

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで
(4)	算出の前提となる降雨	矢作川水系矢作川	年超過確率1/50(対象河川流域の2日の総雨量286mm)
		矢作川水系鹿乗川、家下川、安永川、籠川	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量316mm)
		矢作川水系矢作古川・広田川	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量269mm)
		矢作川水系乙川	年超過確率1/50(対象河川流域の2日の総雨量344mm)
		矢作川水系青木川	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量256mm)
		矢作川水系巴川	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量261mm)
		矢作川水系加茂川、市木川	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量310mm)
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量251mm)
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量242mm)
		その他河川及び下水道等【乙川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量250mm)
		その他河川及び下水道等【家下川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量261mm)
		その他河川及び下水道等【青木川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量256mm)
		その他河川及び下水道等【巴川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量261mm)
		その他河川及び下水道等【安永川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量279mm)
		その他河川及び下水道等【加茂川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量279mm)
その他河川及び下水道等【市木川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量279mm)		
その他河川及び下水道等【籠川流域】	年超過確率1/50(対象河川流域の24時間総雨量268mm)		
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。	
(6)	下水道等条件	<ul style="list-style-type: none"> ・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定 	
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町	
(8)	その他計算条件等	<p>①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。</p> <p>②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。</p> <p>③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。</p> <p>④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。</p> <p>⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。</p> <p>⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。</p> <p>なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。</p>	

矢作川水系 内外水統合の浸水想定図(1/100規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

- (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100(1%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2)この浸水想定図は、現況の矢作川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水による矢作川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3)このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4)この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等 別紙4参照

※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

- 対象となる河川
- 矢作川流域

付図

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 氾濫シミュレーション計算範囲
- - - 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

0 1 2 4 6 8 km

別紙4

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで
(4)	算出の前提となる降雨	矢作川水系矢作川	年超過確率1/100(対象河川流域の2日の総雨量313mm)
		矢作川水系鹿乗川、家下川、安永川、籠川	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量373mm)
		矢作川水系矢作古川・広田川	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量298mm)
		矢作川水系乙川	年超過確率1/100(対象河川流域の2日の総雨量388mm)
		矢作川水系青木川	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量282mm)
		矢作川水系巴川	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量287mm)
		矢作川水系加茂川、市木川	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量362mm)
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量278mm)
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量262mm)
		その他河川及び下水道等【乙川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量277mm)
		その他河川及び下水道等【家下川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量290mm)
		その他河川及び下水道等【青木川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量282mm)
		その他河川及び下水道等【巴川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量287mm)
		その他河川及び下水道等【安永川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量328mm)
		その他河川及び下水道等【加茂川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量328mm)
その他河川及び下水道等【市木川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量328mm)		
その他河川及び下水道等【籠川流域】	年超過確率1/100(対象河川流域の24時間総雨量307mm)		
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。	
(6)	下水道等条件	<ul style="list-style-type: none"> ・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定 	
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町	
(8)	その他計算条件等	<p>①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。</p> <p>②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。</p> <p>③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。</p> <p>④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。</p> <p>⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。</p> <p>⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。</p> <p>なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。</p>	

矢作川水系 内外水統合の浸水想定図(1/150規模降雨) 【現況河道】



1. 説明文

- (1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2)この浸水想定図は、現況の矢作川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水による矢作川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3)このシミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまでも一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定区域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- (4)この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等 別紙5参照

※この多段階の浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

- 対象となる河川
- 矢作川流域

付図

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 氾濫シミュレーション計算範囲
- - - 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川



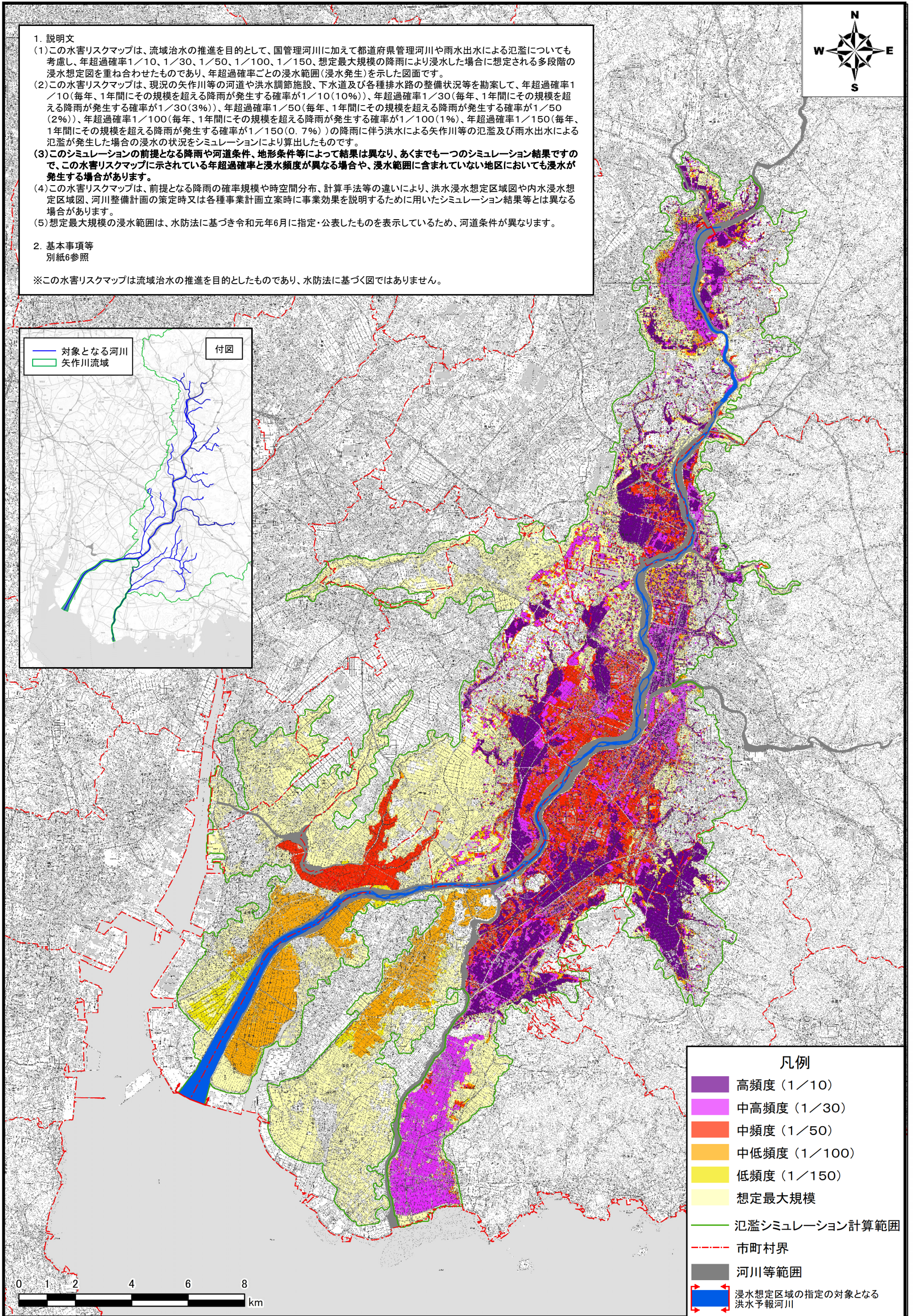
別紙5

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日	
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域	
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで
(4)	算出の前提となる降雨	矢作川水系矢作川	年超過確率1/150(対象河川流域の2日の総雨量321mm)
		矢作川水系鹿乗川、家下川、安永川、籠川	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量410mm)
		矢作川水系矢作古川・広田川	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量314mm)
		矢作川水系乙川	年超過確率1/150(対象河川流域の2日の総雨量416mm)
		矢作川水系青木川	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量297mm)
		矢作川水系巴川	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量302mm)
		矢作川水系加茂川、市木川	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量393mm)
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量294mm)
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量274mm)
		その他河川及び下水道等【乙川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量292mm)
		その他河川及び下水道等【家下川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量307mm)
		その他河川及び下水道等【青木川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量297mm)
		その他河川及び下水道等【巴川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量302mm)
		その他河川及び下水道等【安永川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量357mm)
		その他河川及び下水道等【加茂川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量357mm)
その他河川及び下水道等【市木川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量357mm)		
その他河川及び下水道等【籠川流域】	年超過確率1/150(対象河川流域の24時間総雨量332mm)		
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。	
(6)	下水道等条件	・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定	
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、幸田町	
(8)	その他計算条件等	①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。 ⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。 ⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。 なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。	

矢作川水系 内外水統合の氾濫を想定した水害リスクマップ 【現況河道】

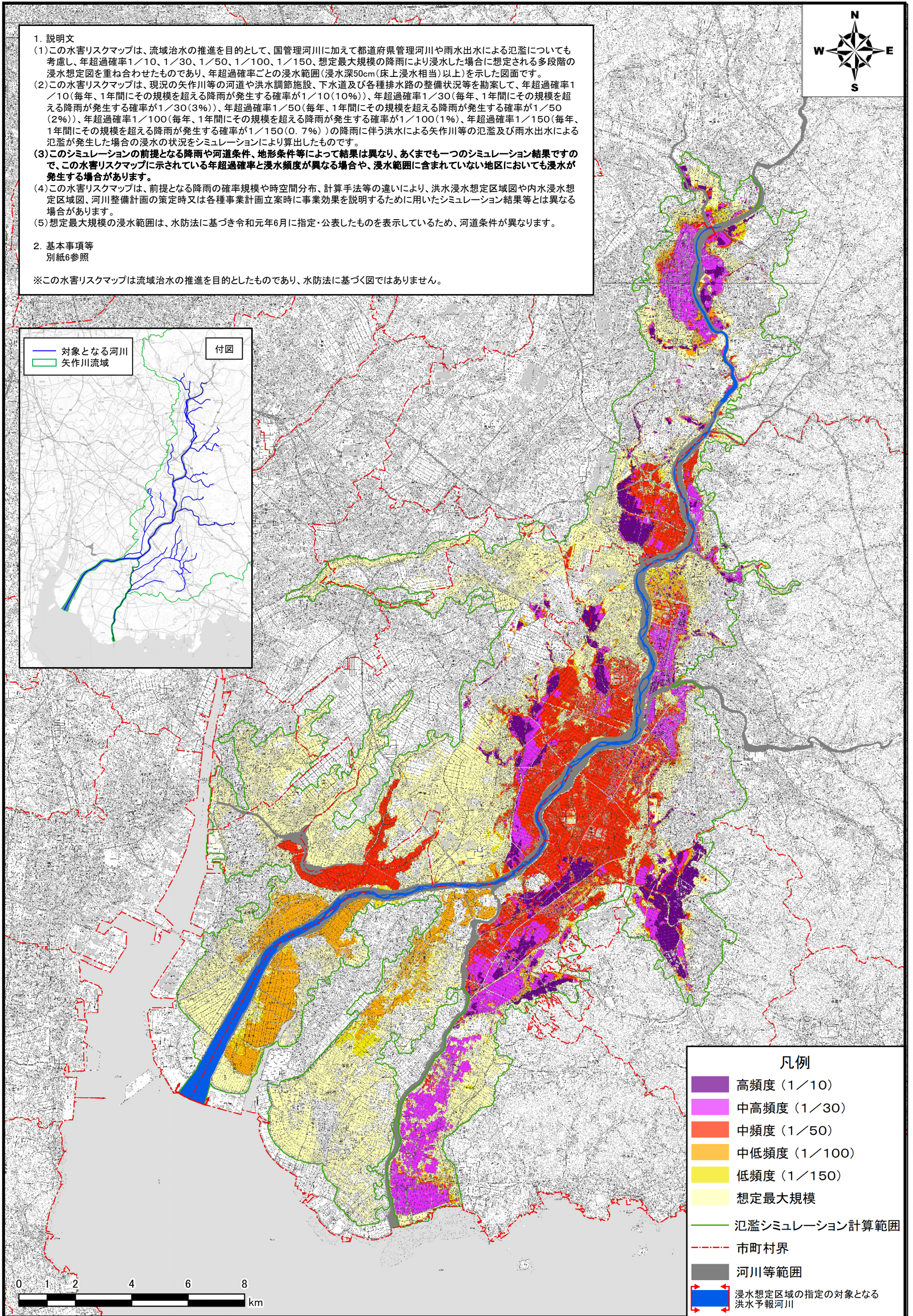
浸水が想定される範囲を表示



矢作川水系 内外水統合の氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

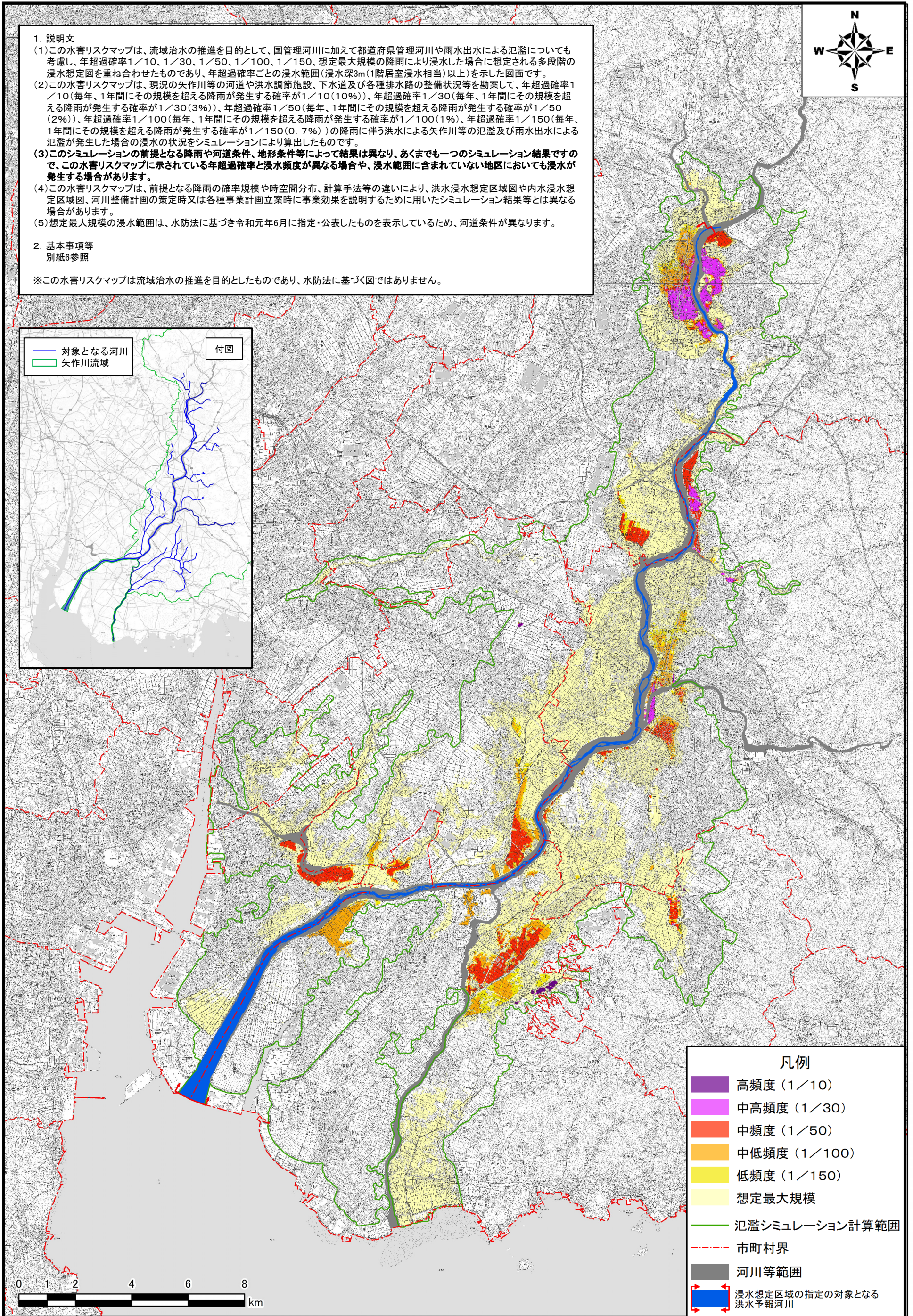
浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



矢作川水系 内外水統合の氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



別紙6

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月18日					
(2)	作成主体及び対象となる流域	国土交通省中部地方整備局 ・豊橋河川事務所: 矢作川水系矢作川流域					
(3)	実施区間 「国管理河川のみを記載、他河川は付図参照」	【豊橋河川事務所】 矢作川水系矢作川	左岸: 愛知県豊田市川田町二丁目二十九番地先から海まで 右岸: 愛知県豊田市荒井町松島三百二十一番四地先から海まで				
(4)	算出の前提となる降雨	年超過確率1/〇の流域毎の総雨量	1/10	1/30	1/50	1/100	1/150
		矢作川水系矢作川流域の2日間の総雨量	221mm	266mm	286mm	313mm	321mm
		矢作川水系鹿乗川流域、家下川流域、安永川流域、籠川流域の24時間の総雨量	205mm	277mm	316mm	373mm	410mm
		矢作川水系矢作古川・広田川流域の24時間の総雨量	202mm	248mm	269mm	298mm	314mm
		矢作川水系乙川流域の2日間の総雨量	246mm	312mm	344mm	388mm	416mm
		矢作川水系青木川流域の24時間の総雨量	193mm	236mm	256mm	282mm	297mm
		矢作川水系巴川流域の24時間の総雨量	198mm	241mm	261mm	287mm	302mm
		矢作川水系加茂川流域、市木川流域の24時間の総雨量	202mm	273mm	310mm	362mm	393mm
		その他河川及び下水道等【鹿乗川流域】24時間の総雨量	186mm	234mm	251mm	278mm	294mm
		その他河川及び下水道等【矢作古川・広田川流域】24時間の総雨量	192mm	226mm	242mm	262mm	274mm
		その他河川及び下水道等【乙川流域】24時間の総雨量	186mm	230mm	250mm	277mm	292mm
		その他河川及び下水道等【家下川流域】24時間の総雨量	192mm	239mm	261mm	290mm	307mm
		その他河川及び下水道等【青木川流域】24時間の総雨量	193mm	236mm	256mm	282mm	297mm
		その他河川及び下水道等【巴川流域】24時間の総雨量	198mm	241mm	261mm	287mm	302mm
		その他河川及び下水道等【安永川流域】24時間の総雨量	185mm	246mm	279mm	328mm	357mm
		その他河川及び下水道等【加茂川流域】24時間の総雨量	185mm	246mm	279mm	328mm	357mm
		その他河川及び下水道等【市木川流域】24時間の総雨量	185mm	246mm	279mm	328mm	357mm
		その他河川及び下水道等【籠川流域】24時間の総雨量	187mm	241mm	268mm	307mm	332mm
想定最大規模(矢作川流域の2日間の総雨量 683mm)							
(5)	河道条件	矢作川、鹿乗川、西鹿乗川、矢作古川、広田川、須美川、安藤川、占部川、砂川、柳川、相見川、尾浜川、赤川、乙川、伊賀川、家下川、青木川、真福寺川、巴川、安永川、加茂川、市木川、籠川、水無瀬川: 現況 ※矢作川水系の流入河川・派川を対象としています。					
(6)	下水道等条件	・施設条件: 現況 ・その他の計算条件等: このシミュレーションは、一部の下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。 : 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を対象降雨に応じた水位に設定 : 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定					
(7)	関係市町	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町					
(8)	その他計算条件等	①この図は、対象となる主要河川(洪水予報河川及び水位周知河川)・その他河川(主要河川以外の一級・二級河川)・下水道等(準用河川、普通河川、各種排水路)で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を図示しています。 ②この図は、対象となる矢作川水系の河川の河口から上流において、一定の条件で越水・破堤させたときの氾濫解析結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。 ⑤下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨(降雨量に流出率を乗じた値)を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価しています。 ⑥この図は、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲のうち矢作川流域を対象として作成しています。 なお、解析モデルの設定にあたり、矢作川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の浸水範囲以外もモデル化・図化している場合があります。					